

EPR[®]

あらゆる下水道管渠を供用のまま短時間で非開削更生。
 部分更生(0.3m)から長スパン更生(10m)、支管部補修まで。
 小口径φ100から大口径φ900以上。
 水中で硬化、ぴたりと止水。

技術審査証明受領
 <第0503号>



EPR工法に用いられる補修材料は、上記財団で審査証明を受けました。

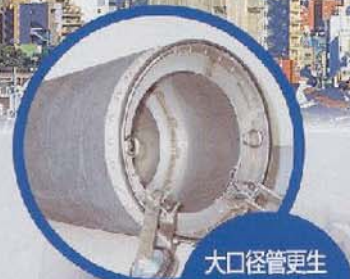
- 1 非開削で管更生**
あらゆる管渠を非開削で内面から補修、更生。施工がシンプルでスピーディです。
- 2 水中自然硬化**
水中でも短時間で自然硬化。止水工に適用できるとともに、管路供用中の施工が可能です。
- 3 高耐久性・高耐薬品性**
偏平強度及び内面の耐摩耗性は抜群です。下水中の酸、アルカリにも侵されません。
- 4 水密性を保持**
水中硬化性樹脂により抜群の高水密性を保持。不明水の浸入をぴたりと抑えます。
- 5 流下能力を向上**
EPR樹脂の粗度係数は塩ビ管とほぼ同程度のため、流下能力を損なうことはありません。
- 6 あらゆる管種に対応**
小口径から大口径、部分補修からロングスパン、取付管・マンホール管口にいたるまで全ての管種に対応します。
- 7 工期短縮・経済的**
施工現場の占有面積が小さく、作業もスピーディ。工期の短縮、施工コストの低減にも役立ちます。

幹線管渠から枝管まで選べる工法

バリエーション・フリー



支管部更生
EPF



大口径管更生
EPX



マンホール径縮更生
EPI



小口径管更生
EPS



大口径・ボックスカルバート取付
EPL



取付更生
1~3, 5, 7, 10mに対応
EPL



1スパン更生



任意断面
カルバート更生
フリーモールド

高性能樹脂と特殊クロスの採用で、あらゆる管種、管径に対応。耐摩耗性にも優れています。

EPR工法は軽量、高強度、長期耐久性に優れたエンジニアリング。プラスチックにガラスクロスやカーボンクロスを組み合わせた強化材を用い、クラック、管ズレ、管底損傷箇所の更生を内面より非開削で行う画期的な工法です。EPR工法に使用する高性能樹脂は外部よりの加熱を必要とせず室温で自然硬化するため、影響や騒音がなく継ぎ目内面が均一に仕上がります。また、水中でも短時間で硬化するため、浸入水のある部位を直接止水施工できるとともに、管路を供用したまま管更生が可能です。小口径から大口径、部分補修からロングスパンまで、あらゆる管更生に対応します。



EPR工法の区分

呼称	対象管径 (mm)	更生長さ (m)	更生内容	対象管
EPS	φ100	0.3~0.5		本管
	φ150			
	φ200			
	φ250			
	φ300			
	φ350			
	φ400			
EPF	φ200	0.1 0.4 0.13 (取付管)	クラック 管ズレ	本管と取付管の接合部
	φ250			
	φ300			
	φ350			
	φ400			
	φ450			
	φ500			
EPL	φ150	1.0~3.0	破損 浸入水	本管及び取付管
	φ200			
	φ250			
	φ300			
	φ350			
EPI	φ400	10.0	汚損	人孔インバート
	φ450			
	φ500			
EPX	φ700 φ800	0.5~0.6		人孔間任意長
エアームールド	φ900以上	0.6~0.7		本管及びマンホール、ボックスカルバート、馬路梁
フリーモールド	自由断面	0.4~0.7 1.0		現場打ちカルバート、既製カルバート、カルバートアーチなど